



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

東

上場会社名 旭松食品株式会社

上場取引所

コード番号 2911

URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,926	3.8	6	—	23	—	13	—
2023年3月期第1四半期	1,856	△4.4	△34	—	△20	—	△39	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 53百万円(226.6%) 2023年3月期第1四半期 16百万円(△47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	7.22	—
2023年3月期第1四半期	△21.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,606	7,553	78.0
2023年3月期	9,436	7,518	79.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,492百万円 2023年3月期 7,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	3.3	220	—	280	886.1	200	—	109.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,876,588株	2023年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	41,680株	2023年3月期	41,675株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	1,834,909株	2023年3月期1Q	1,826,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナウイルス感染症による行動制限や水際対策が3年ぶりに緩和されたことにより、人流が回復し経済活動も正常化に向けた動きが見られました。しかし一方では、ウクライナ情勢に起因する原油価格や原材料価格の高止まり、円安進行による物価上昇などに伴い、消費者の生活防衛意識がさらに高まっております。

食品業界におきましても、世界的な小麦・油脂などの原材料高騰や原油高に起因した包装資材や物流費など各種コストの大幅な上昇に加え、円安の影響も重なって経営環境は一段と厳しい状況となっており、価格改定を実施する企業が相次ぎました。今後も更なる物価上昇が懸念され、消費者の節約意識は一層高まっております。また、安全・安心への関心は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも増大しております。

このような状況のなか、当社グループでも主要原料である輸入大豆の価格が高止まりしている上、円安の進行もあり経営環境が悪化しております。さらに、電力料や燃料、資材や物流費の高騰など製造コストの急激な上昇も加わって、収益面への影響が深刻な状況となっております。このため、2023年6月1日出荷分より凍豆腐の3回目の価格改定を実施するなど企業努力では吸収しきれないコスト増への対応を余儀なくされました。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョン5.1の追加要求事項をクリアするなど、一層の向上を図っております。また、合理化、省エネルギー、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。具体的には、主力工場である当社天竜工場での太陽光発電設備の投資や賞味期限延長可能な商品開発などに取り組んでまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、凍豆腐などの価格改定の効果もあり、売上高は19億2千6百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。利益面では、原材料やエネルギー価格の急激な高騰などによる製造コスト増加の影響を受けてはおりますが、価格改定の実施と併せて引き続き合理化や諸経費の削減などの施策を実施しており、営業利益は6百万円（前年同四半期は3千4百万円の損失）、経常利益は2千3百万円（同2千百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千3百万円（同3千9百万円の損失）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、需要が微減傾向にある市場の拡大・活性化を図るべく業界団体と協調し、凍豆腐に多く含まれるレジスタントプロテインが、肥満や脂肪肝を予防する健康機能性を訴求するPR活動などを行ってまいりました。また、昨年発売の簡単便利にタンパク質を摂ることができる即食タイプの「TOPURO（トプロ）」や「カップ新あさひ豆腐」、原料大豆にこだわり美味しさ長持ちの「新あさひ豆腐うす切り」シリーズの拡販に努めてまいりました。しかし、企業努力では吸収しきれない各種コストの大幅な上昇を受け、収益面でも厳しい状況となっていることから、前期に続き2023年6月1日より3回目の価格改定を実施いたしました。その結果、売上高は8億8千5百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により収益力の改善を図るため商品の改廃を進めてまいりました。特に、カップ入りタイプのオートミールは健康志向の方に評価が高く新たに具材入り商品のアイテムアップなど品揃えを強化してまいりました。また、即席カップスープ関係は一部価格改定を実施いたしました。その結果、売上高は5億3千9百万円（同0.9%減）となりました。

[その他食料品]

その他食料品の売上高は5億円（同0.4%減）と微減いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの資本の財源及び資金の流動性につきましては、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度に比べ1億7千万円増加し96億6百万円（前連結会計年度比1.8%増）となりました。これは、季節的な変動要因が大きな売上高の減少などによる受取手形及び売掛金の減少9千7百万円があったものの、棚卸資産の増加9千万円や、SDGsへの取組みとして太陽光発電などの新規設備取得による有形固定資産の増加5千2百万円、株価上昇に伴う評価額増加による投資有価証券の増加3千8百万円などがあったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ1億3千4百万円増加し20億5千3百万円（同7.0%増）となりました。これは、返済に伴う長期借入金の減少4千5百万円や支払手形及び買掛金の減少8千4百万円があったものの、短期借入金の増加2億4千9百万円があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ3千5百万円増加し75億5千3百万円（同0.5%増）となりました。これは、配当金支払などによる利益剰余金の減少5百万円があったものの、その他投資有価証券評価差額金の増加3千1百万円があったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ1.0ポイント減少し78.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,838,752	1,873,897
受取手形及び売掛金	1,408,870	1,311,065
棚卸資産	1,220,148	1,311,122
その他	72,029	119,148
貸倒引当金	△5,367	△4,549
流動資産合計	4,534,433	4,610,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,976,055	5,994,164
減価償却累計額	△4,873,475	△4,902,205
建物及び構築物（純額）	1,102,580	1,091,959
機械装置及び運搬具	7,075,716	7,176,091
減価償却累計額	△5,915,412	△5,981,794
機械装置及び運搬具（純額）	1,160,303	1,194,297
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	218,416	235,857
減価償却累計額	△169,793	△175,751
リース資産（純額）	48,622	60,106
建設仮勘定	8,830	24,730
その他	471,160	476,945
減価償却累計額	△391,558	△395,327
その他（純額）	79,602	81,617
有形固定資産合計	4,103,512	4,156,284
無形固定資産	164,400	168,713
投資その他の資産		
投資有価証券	591,745	630,497
繰延税金資産	3,302	1,325
その他	39,233	39,140
投資その他の資産合計	634,281	670,963
固定資産合計	4,902,195	4,995,962
資産合計	9,436,629	9,606,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	618,276	533,938
短期借入金	289,112	538,964
リース債務	20,627	22,802
未払金	258,209	264,485
未払法人税等	-	9,328
賞与引当金	33,951	25,681
設備関係支払手形	60,992	26,433
その他	125,344	144,388
流動負債合計	1,406,514	1,566,021
固定負債		
長期借入金	340,540	295,396
リース債務	33,225	43,499
長期未払金	37,771	36,595
繰延税金負債	44,869	56,365
資産除去債務	48,920	48,928
その他	6,700	6,700
固定負債合計	512,027	487,485
負債合計	1,918,541	2,053,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,120,609	4,115,512
自己株式	△100,229	△100,240
株主資本合計	7,270,648	7,265,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,537	71,390
為替換算調整勘定	148,196	155,229
その他の包括利益累計額合計	187,733	226,619
非支配株主持分	59,705	60,978
純資産合計	7,518,087	7,553,138
負債純資産合計	9,436,629	9,606,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,856,508	1,926,354
売上原価	1,340,488	1,410,525
売上総利益	516,019	515,829
販売費及び一般管理費	550,788	509,308
営業利益又は営業損失(△)	△34,769	6,521
営業外収益		
受取利息	985	2,663
受取配当金	8,955	8,353
受取賃貸料	1,149	1,413
受取技術料	3,067	3,876
受取保険金	1,082	-
雑収入	1,585	2,460
営業外収益合計	16,824	18,768
営業外費用		
支払利息	867	700
為替差損	225	-
賃貸収入原価	1,336	1,061
雑損失	254	77
営業外費用合計	2,684	1,839
経常利益又は経常損失(△)	△20,628	23,450
特別利益		
固定資産売却益	-	954
特別利益合計	-	954
特別損失		
固定資産除却損	815	1,128
特別損失合計	815	1,128
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△21,444	23,277
法人税、住民税及び事業税	4,224	2,253
法人税等調整額	14,072	7,280
法人税等合計	18,297	9,533
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,741	13,744
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	491
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,657	13,252

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,741	13,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,872	31,852
為替換算調整勘定	37,222	7,814
その他の包括利益合計	56,095	39,667
四半期包括利益	16,354	53,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,716	52,138
非支配株主に係る四半期包括利益	3,638	1,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	売上区分			合計
	凍豆腐	加工食品 (即席みそ汁等)	その他食料品	
一時点で移転される財	808,687	544,963	502,857	1,856,508
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	808,687	544,963	502,857	1,856,508
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	808,687	544,963	502,857	1,856,508

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	売上区分			合計
	凍豆腐	加工食品 (即席みそ汁等)	その他食料品	
一時点で移転される財	885,487	539,982	500,885	1,926,354
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	885,487	539,982	500,885	1,926,354
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	885,487	539,982	500,885	1,926,354